

## 職員リレーエッセイ

## 目からウロコ

ニコニコハウス鶴里 石川修平

最近インターネットの動画を何気なく見ていた時に、目からウロコがおちたような感覚になった。その動画は野球のバッティングの解説をするものだった。ちなみに私は野球をほとんど見ないし、やったこともあまりない。

説明をしていたのが、かの3冠王落合博満さんである。バッティングの理論を話されていたが、その内容が自分にとってはまったくイメージの違ったものだった。それは「肩を動かさず手から振る」というものである。

私は学生のころからテニスを続けており、強いボールを打つには、腕の振りをできるだけ早くする必要があり、腰と肩を回転させてその反動で腕を振るということが一番であると考えていた。なので当然野球でもできるだけ早く腕を振ったほうが飛ぶんだろうなと思っていた。

だが落合さんの理論は全く逆であった。またそれに関連する動画で元カープ前田智徳さんの動画でも、「できるだけゆっくり振る」ということが言われていた。これもこれまで自分が思っていたことと逆の事だった。

どのような説明だったのかは、是非動画を見て確認していただきたい。説明を見て「なるほど～」と思い、早速テニスでもそのことを気にして打ってみると、なんとなくいい感じ。これまで、無理やり力を入れて打っていたのが、楽に強い球が打てるような気がした。

いままで、一つのやり方にこだわってやってきたことが、別の方法や全く逆の考え方でやってみると意外とシンプルにできるようになったり、楽にできたりすることもあるんだと感じた。価値観が変わることはとても楽しく、ワクワクする体験だった。これからも、固定概念を崩す、目からウロコが落ちるような経験をしていきたいものだ。

余談ですが、インターネットの動画ってそんな経験をする入口にはもってこいの道具だけど、ついついダラダラと見てしまい、結局目からウロコが落ないまま（発見がないまま）時間だけが過ぎてしまうことがよくあります。皆さんはどうでしょうか？

参考：YouTube「バッティング講座 落合」「前田智徳 バッティング」で検索 

次は総務 高橋真紀さんにつながります。

低料第三種郵便物承認

平成 年 月 日発行（増刊）

A J Uニコニコハウス通信（第 304 号）（ 5 ）